










寒川総合図書館 2019年度上期事業主要実績

		事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(ア) 利用者高齢化への対応	高齢者向けサービス	俳句ポストの設置	現代俳句協会とコラボの「俳句ポスト」を設置しました。毎月決まったお題で利用者から投句してもらい、協会で優秀として選ばれた句は雑誌「現代俳句」に掲載されます。	2019.4.3～	—	<p>4月～9月で84句の投句があり、7月までで12名の18句が優秀句に選ばれました(内 特選2句)。住民の俳句の創作と成果の発信を進めることができました。</p> 
		回想サロン	町の高齢者の方を対象に昭和30年代の懐かしい映像や新聞記事を観てクイズに答えたり、思い出を語り合う回想サロンを初めて開催しました。「三人娘」、「三種の神器」、「美智子様」など、参加者の皆さんにはその当時の思い出を楽しく語って頂きました。好評のため同じ参加者メンバーで30年代の続きを実施し2回目は「東京タワー」や「オリンピック」、「野球」、「相撲」などのスポーツの話題などで楽しくお話しいただきました。	2019.6.27 2019.7.25	10名 9名	<p>面識のない住民同士のコミュニケーションの促進ができ、昔を思い出し、語りことによる認知症予防に効果も期待できます。 ▼対応できるスタッフが限られる為、開催回数が限られる。</p> 

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進	乳幼児向けサービス ぬいぐるみお泊り会	子どもたちにお気に入りのぬいぐるみと一緒におはなし会に参加してもらい、ぬいぐるみは図書館に一晚お泊りしてもらい、そのぬいぐるみの図書館での様子の写真をアルバムにして渡すというイベントを実施しました。	2019.5.24-25	18名	子どもが図書館と本に親しみをを感じる機会作りができました。 ▼参加希望者は多いが一度に参加できる人数に限られる為、実施回数の増加を要検討。 
	乳幼児向けサービス 布絵本作り講座	町の布絵本サークル・ピーターパンクラブの方を講師に招き、0～3歳向け布絵本をつくる初心者向け講座を開催しました。小さいお子さん同伴でも参加できるように、町のボランティアセンターで手配したベビーシッターに来て頂き、事務室で保育をお願いしました。参加者の皆さんにはお子さんやお孫さんのため世界にひとつだけの絵本作りを楽しんで頂きました。	2019.6.1 2019.6.8	9名 10名	図書館が所蔵していないオリジナル「布絵本」を作る楽しみと子どもや孫に使ってもらう楽しみを体験できる機会作りができました。町のサークルの協力を得、連携が図れたのも有益でした。 
	乳幼児向けサービス ブックスタートボランティアおはなし会講座	町の子育て支援課が推進している0歳児向けブックスタートのボランティアメンバーの方を対象に図書館の児童担当スタッフからブックスタートやおはなし会についてレクチャーを行い、0歳児に本を親ませることの重要性や読み聞かせの時の注意点等を説明しました。	2019.6.28	20名	子育て支援課と連携することによる新しい図書館利用者を開拓に繋げることができました。
	乳幼児向けサービス 子育て支援センターわらべうた講座	寒川町子育て支援センターとの共催イベントとして「図書館スタッフと一緒にわらべうた」と題し”わらべうたってどんなうたがあるの？どんな時にうたえば良いの？”など、赤ちゃん連れの保護者を対象に図書館スタッフが出張してレクチャーを実施しました。	2019.9.11	46名	子育て支援センターと連携することにより施設の相互利用促進することができました。 

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進 児童向けサービス	おりがみとおはなし会	絵本の読み聞かせと、その世界をおりがみで楽しむコラボ企画としました。今回はハートがでてくる絵本を読んだ後、かわいいハートがついた小物入れを作ってもらいました。	2019.4.28	約40名	絵本の楽しみと折り紙を作る楽しみの体験を提供できました。
	夏のスペシャルおはなし会	夏のスペシャルおはなし会を1階児童コーナーのスペースを広く使い、楽器など使用して開催しました。絵を描きながら、ペットボトルを使った手品を見ながら、折り紙を使いながら、など参加型おはなしの世界を楽しんでもらいました。	2019.7.27	約60名	様々な形のおはなしを楽しむ機会を提供することができました。 
	夏休みわくわく読書マラソン	毎年恒例の本を読んで「わくわく読書マラソン」カードに記録し、スタンプを集めると認定証と記念品がもらえるイベントです。今回は10冊で認定証を発行し、それ以降は夏休みが終わってからも読書に親んでもらえるように読書通帳に記入してもらう形式にしました。	2019.7.20- 2019.9.1	411名	読書を楽しんでもらう習慣を推進する機会を提供できました。前年参加者の381名より411名と増加したが、内10冊以上読んだ人は332名→282名と減少しました。 ▼参加者、冊数ともに増加できるような工夫を要検討。
	夏のスペシャルこわ〜いおはなし会	図書館閉館後のカウンター前を暗くし、スタッフ、ボランティアで、怖い内容の絵本、紙芝居、朗読等を行いました。いつもと違う暗い図書館と少し怖い内容に子ども達も静かに聞き入っていました。帰りに渡した手作りのお清めの塩の包みも好評で、非常に盛況でした。	2019.8.25	約90名	単に怖だけでなく、地域に伝わる話なども盛り込み、郷土への関心を深めてもらえました。 ▼前回アンケートにより怖さを増した内容としたが、幼い子どもには怖すぎるとの意見もあり、最後はホッとするような構成の工夫が必要。
	ライブラリーシネマ SAMUKAWA	定期映画会の午前の部に子ども向けの「おまえうまそうだな」を上映しました。上映時間前から人が集まり盛況でした。	2019.8.29	約60名	図書館で映画に親んでもらう機会を提供し、子ども達にはカーペットの上に座ってもらい楽しんでもらえました。 ▼上映できる映画が上映権のあるものに限定される。

		事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進	児童向けサービス	パチパチ座 紙芝居発表会	町の紙芝居サークルグループ「パチパチ座」が町民センターで行なった子供向け紙芝居講座の成果発表会を図書館1階おはなしコーナーで開催しました。各自、講習の成果を披露し、紙芝居作家のときわひろみさんも講師として参加され、子ども達にユーモアを交えた講評をされた。	2019.8.8	約40名	子どもたちが紙芝居を見るだけでなく、演じて成果を発表する良い機会を提供できました。町民センターとの連携が図れたのも有益でした。 
		夏休み宿題調べ隊	図書館を使って「調べる」おもしろさを体験してもらうために、ゲーム感覚で楽しんでもらいました。今回は「国」をテーマに参加者がいろいろな国について資料を使って調べ、リーフレット形式にまとめてもらいました。完成したリーフレットは企画展示室前の宿題おたすけコーナーに展示しました。	2019.8.2	8名	自分で調べて、その内容をまとめるという過程を体験してもらえました。 ▼参加者個人により差があり、進捗の時間配分が難しい。 
	YA向けサービス	YAコーナー展示	・「新学期！部活特集」 ・「旅行・冒険・ホラー特集」の展示を実施	—	—	中高生に関心のありそうなテーマで展示を実施できました。 ▼どれくらい利用されているかの分析・評価が必要

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(ウ) 発見のある図書館	ライブ・イン・ライブラリー	閉館後の図書館で、ハープ、リコーダー、太鼓などの楽器を使った演奏会を行いました。「ぷりずむくぷれDuo」という町の住民のご夫婦の演奏でしたが、奥様の軽妙な語りと珍しい楽器の演奏で集まった観客には非常に好評でした。	2019.4.20	約60名	普段聞くことのない実際の楽器の音色・演奏を聴くことの出来る機会を提供できました。 
	ライブラリーシネマ SAMUKAWA	図書館で定期的に映画会を開催することとし、第一回目として、高齢者をターゲットにした古典名画「嘆きの天使」（1930年・ドイツ映画：日本語字幕付き）の上映会を行いました。平日の昼間でしたが、会場が満員になる盛況でした。また、8月29日の午後午後の部に一般向けの日本映画「くらわんか」を上映しました。	2019.5.30 2019.8.29	約40名 約25名	図書館で映画に親んでもらう機会の提供ができました。これによりこれまで図書館に来なかった住民に利用増が期待できます。 ▼上映できる映画が上映権のあるものに限定される。
	しまんとバッグ ステップアップ講座	「もっと大きなバッグを作りたい」との希望があり、経験者を対象に古新聞紙5枚でじょうぶで大きいバッグを作るステップアップ講座を開催しました。初めての参加者もいらっしゃいましたが、スタッフの丁寧な指導もあり参加者それぞれ素敵なバッグを楽しんで作って頂けました。	2019.9.14	5名	バッグを作る楽しみと環境問題を考える機会の提供ができました。 
	椅子ヨガ教室	図書館での読書や勉強で疲れた身体と心をほぐしてもらうために椅子ヨガ教室を実施しました。茅ヶ崎からインストラクター2人を招き、皆さんいい汗もかきリラックスできた様子で好評でした。	2019.9.29	17名	身体を動かすことと健康を考えてもらう機会を提供ができました。 
	企画展示	・「さむかわのみぢかな木」（含む林野庁パネル展示） ・「新さむかわ子ども読書100選」 ・「子どもと考える戦争と平和」（含む被爆樹木パネル展示）の展示を実施	—	—	環境や平和を考えてもらえる素材とともに図書を展示できました。

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(エ) 広報活動に関する提案	図書館新キャラクター「十進法王国」	<p>図書の分類「日本十進分類法」を司る『十進法王』と『しおり大臣』、そして分類番号の10種のキャラクターを『十進王国物語』の仲間達として発表しました。スタッフオリジナルの力作です。今後、イベントや書架の表示等で活躍しています。また、11月開催の図書館総合展のポスターセッションでも紹介する予定です。</p>	2019.7-	-	<p>数字だけでは分類の内容が分かりづらいため、キャラクターを使って子ども達にも親しみを持てる表示とし、図書の分類の理解と探索に役立ててもらいました。読書指導員を通じて町内の学校でも利用してもらっています。</p> <p>寒川総合図書館 オリジナル 日本十進分類法キャラクター</p>  <p>©寒川総合図書館</p>
	媒体掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・令和関連展示(タウンニュース2019.4.19) ・「図書館で映画会」(タウンニュース 2019.5.17) ・「今晩はお泊り めいぐるみお泊り会」(タウンニュース 2019.5.31) ・「梅雨の合間の椅子の行列 蔵書点検」(タウンニュース 2019.6.28) 	-	-	<p>広報、ホームページ、Twitter、Instagramなどで情報発信していますが、マスコミ媒体を通じた不特定多数に対する情報発信をすることができました。</p> <p>▼更に取り上げてもらえるように媒体への働きかけが必要。</p>
(オ) 地域の発展のために	野谷久仁子さんのお話と革を使ったキーホルダー作り	<p>「吉田カバン」の創業者である、吉田吉蔵氏(寒川町出身)を父に持つ、バッグデザイナーとして著名な野谷久仁子さんによるお父様との思い出話や革クラフトに対する思いなどを伺いながら、手縫いの革のキーホルダー作りを体験してもらいました。</p>	2019.6.22	23名	<p>地元ゆかりの著名人によるイベントで郷土に対する関心と親しみを持ってもらえました。これまで図書館に来なかった住民に利用増が期待できます。</p> <p>▼候補者の選定。</p> 